

〔総務部 総務課 所管〕

02010110 職員研修事業

決算書P. 79

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	973	1,250	△ 277	
国庫支出金			0	
県支出金			0	
地方債			0	
その他	0	48	△ 48	研修受講経費助成金
一般財源	973	1,202	△ 229	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

職員の資質向上及び職員のスキルアップにより市民サービスの質的向上を図る。

【今年度の取組】

法務マスターなどの専門的知識を得る講座をはじめ、クレーム対応やメンタルヘルスなど幅広い研修を受講することにより、時代や環境の変化への適応力を養成することができた。

また、昇格した職員には、階層別研修により必要な知識や能力を習得し、職責に応じた的確な業務の遂行に役立てることができた。

○特別研修・専門研修…144名 ○階層別研修…84名 ○視察研修…5名 ◎延べ参加人数…233名

【成果の動向】

守谷市人材育成基本方針に示された市職員のあるべき姿を実現するため、それらの能力・意識・姿勢を兼ね備えた人材の育成に向けた職員研修を実施し、職員の資質向上が図れた。

【今後の事業の方向性】

少子・高齢化、情報化等による社会構造の変動は、地域住民のニーズや価値観を益々多様化させる。職員にはこれらに応える能力の開発が求められているため、今後も更なる職員研修の充実を図っていく。

02010116 総合文書管理事務

決算書P. 83

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	2,466	3,632	△ 1,166	
国庫支出金			0	
県支出金			0	
地方債			0	
その他			0	
一般財源	2,466	3,632	△ 1,166	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

適正な文書管理を行い、情報公開請求に迅速に対応する。

また、電子決裁の活用により、文書のペーパーレス化を推進する。

【今年度の取組】

総合文書管理システムの活用により適正かつ総合的な文書管理を行ったことで、文書の收受から起案、決裁、施行、保存、廃棄に至る一連の事務処理を効率的に実施し、紙文書の削減を図ることができた。

【電子決裁率】平成24年度：17.93%、平成25年度：21.08%、平成26年度：24.15%、平成27年度：25.58%
平成28年度：27.07%

【成果の動向】

総合文書管理システムの機能強化や職員の意識改革を進めたことで、事務処理の効率化を図り、文書の電子化率も向上させることができた。

【今後の事業の方向性】

各課別の電子化率や文書管理における事務処理マニュアルを定期的に周知し、文書管理に対する意識向上を図る。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	20,858	0	20,858	
国庫支出金	20,858	0	20,858	参議院議員通常選挙委託金
県支出金			0	
地方債			0	
その他			0	
一般財源	0	0	0	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

参議院議員通常選挙を円滑かつ適正に執行する。

【今年度の取組】

開票システムの導入により、これまで以上に正確かつ迅速な開票作業に取り組むことができた。

- 1 選挙執行日 平成28年7月10日 (任期満了日：平成28年7月25日)
- 2 主な経費
 - ・投票及び開票経費 16,576,296円
 - ・選挙事務委託料 2,609,314円
 - ・ポスター掲示場費 1,671,948円

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	16,066	0	16,066	
国庫支出金			0	
県支出金			0	
地方債			0	
その他			0	
一般財源	16,066	0	16,066	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

守谷市長選挙を円滑かつ適正に執行する。

【今年度の取組】

立候補予定者や出納責任者への説明会など、選挙の適正な執行管理とともに、公正な選挙の執行に努めた。

- 1 選挙執行日 平成28年11月20日 (任期満了日：平成28年12月5日)
- 2 主な経費
 - ・投票及び開票経費 10,918,214円
 - ・選挙事務委託料 1,634,566円
 - ・ポスター掲示場費 1,509,192円
 - ・選挙公営費 2,003,688円